

市政を問う

22人が一般質問



一般質問は、質問順に記載する予定でしたが、写真があるところと、無いところがあり、紙面づくりの都合上、順序をかえる場合があります。

上瀧 政登 議員



小城市活性化に企業誘致をすすめよ

問 全国の地方都市が熱心に企業誘致を

計画し、その町の活性化を推進しているが小城市

の場合はどうなっているか。四月より企業誘致係が設置されたがどんな活動をしているのか。工場団地を作る計画があるのか。

答 (江里口市長)

係の仕事として情報の収集、遊休地をリストアップし検討しています。又企業訪問・PRにも力を注いでいます。今後は県の指導を受けながら即戦力となる工場用地

を市内に三カ所程度選定し、進出企業に対してスムーズに便宜が図れるように努力しています。

急げ！広域清掃センター

問 天山地区と多久市との共同の塵介処理場の建設が急がれます。今後の見通しはどうなっていますか。

答 (江里口市長)

現在の塵介処理場は老朽化しておりますので早急に作業を進めていく必要があります。年度内に数カ所の候補地から一カ所を選定し、来年度はその場所の技術的な可能性、利便性、経済性をさらに検討し最終的に決定したいと思っています。職員の増員を図り建設実現に向け努力します。

来年度予算の編成方針と重点目標は

問 平成十九年度の予算を編成する時期

です。その方針、重点的な施策は。

答 (江里口市長)

重点実施計画に掲げた四十一項目を二十年度までに着実に実施するための予算を講じます。さらに総合計画案のまちづくりの基本理念に沿っ

た施策を考えています。特に来年度は青少年の健全育成やスローライフを柱として実施します。財政状況も大変厳しい中で、徹底的な経費の削減を図り限られた財源を重点的に配分して、市民の皆さんの期待に応えられるように努めます。

市丸 典夫 議員



声かけ事犯の対策は

問 最近、私の地元でも連続して声かけ事犯が起こり、小学校友会でも緊急保護者会が開かれ、対応策などにつ

いて話し合いが持たれました。幸い大事に至らなかったものの、子を持つ親にとっては大変心配である。声かけ事犯の対策として、教育委員会、各学校また、各地域で現在どのような取り組みがなされているのか。

答 (今村教育長) 教育委員会では、

声かけ事犯等へ緊急対応するため、携帯メール配信による情報提供システム

ムを九月十五日より導入しました。小学校では集団下校を推進し、児童・生徒で下校することがないよう注意を払っています。当然、低学年については教師が引率をします。また、教職員による巡回指導、パトロール指導を実施しております。

地域においても、青色パトロール灯で各種団体の皆様にさまざまな安全確保の取り組みを行っていただいています。



▶ 青色パトロールで安全確保

十二月一日には小城市児童・生徒の安全確保推進委員会を立ち上げています。

問 声かけ事犯につきましては、いろんな要因があると思います。その中で、地域の力、地域力の低下が、大きな要因ではないかと考えます。

子どもたちが安心・安全に過ごせるよう、地域力の低下をいかに防ぐか、また、地域力をいかに高めるかが必要ではないか。教育長の考えは。

答 (今村教育長) 地域で子どもに目

や声をかけているところ、は、声かけ事犯が少なく起きている現状であります。学校の教師は、地域へ出ていく力をつける。PTAは学校と自分たち、子どもとの関係だけではなく、地域での活動にかかわっていくことが大切なことだと考えます。

これ以外に本庁本式移行について質問しました。

金原 修光 議員



介護保険独自策を

問 介護保険では、十六種類の病気が指定、それ以外の難病者の患者に対して、市独自の支援策を講じよ。

支援策を講じよ。

答 (江里口市長) 国・県の助成制度があり、難病者に対する市独自の支援策は考えていない。

年金くらしの人達

問 は、年金から天引きなどで、介護保険料を納めている。現在一段階から六段階の保険料の負担の格差をゆるやかにするため、所得段階の細分化された、保険料に改めるよう検討を。

優遇措置で企業誘致を

問 市内の市有地の活用、誘致条例での優遇措置で対応できるのか。また町人会との提携を結ぶなど検討すべきだ。

利用しやすい
コミュニティバスを

問 来年四月にバスが運行されるが、今の公共施設を拠点とした路線でなく、住民の声が

多い、スーパー、中心市街地、病院、駅など乗って来てもらう運行にすべきだ。来年の運行形態は。

答 (江里口市長) 県と連携し、工場用地二、三カ所選定したい。遊休地は調査、検討中。誘致条例の改正は現在検討中だ。町人会に親善大使を委託している。

答 (江里口市長) 旧役場、保健福祉センター、市民病院を右回りと左回り、午前と午後各一便、計一日四便。現在の福祉バスと接続する。

問 計画路線は需要が多いとは考えにくい。どのような路線なら

答 (江里口市長) 連携などコンサル業者と検討した。将来は有料化したい。バス停のネーミング、バスへの広告などは、導入していく。

皆さんから利用されるか考えてない。運行計画でコンサルタント委託料二百五十二万円は活かされたのか。またバス停設置に、ネーミングライツ(バス停のネーミングの有料化)の考えは。

大坪 徳廣 議員



台風、豪雨、雹被害の支援策を

問 台風十三号の来襲は小城市を直撃し、近年まれに見る大型台風で特に塩害による農作物

の被害は予想以上に甚大なものになった。芦刈、有明海沿岸では漁船の転覆をはじめ、稲作、大豆さらには山間部の柑橘（かんきつ）に至るまで小城市全体に塩害が拡大した。市内農業関係の被災額が約十二億九千万円、雹（ひょう）などの被害が約三千六百万円確認されている。激甚災害指定に伴い、県も独自支援を打ち出した。市としても、当然独自支援をす

べき。市長の考えを問う。

答 （江里口市長）

皆さんのご要望をしっかりと受け止め支援策を講じていく。一、災害融資利子補給の助成。二、水稻、大豆種子助成。三、共乾施設利用料軽減のための助成。四、施設園芸、施設復旧のための助成。五、畜舎被害復旧のための助成。六、植替苗等費用の助成に取り組み支援を講じていく。

問 地球温暖化が進む中、いつこのよう

な自然災害が発生するとも限らない。漁船避難係留地が確保されていたならば被害も最小限で済んだと思われる。

答 （江里口市長）

国土交通省武雄河川事務所、また、県に対して要望している。

高校総体の受け入れは万全か

問

合併して間もない小城市を全国にアピールする絶好の機会であり、選手、監督らをもてなしの心で歓迎し、失敗は許されない。

答 （今村教育長）

小城市の実行委員会を立ち上げ、大会に向けての審議、運営方針等の協議を行っている。小

城市ではバドミントン競技二会場、ハンドボール競技二会場が他の二市二町で共催される。全国に向けての情報の発信、イメージアップを図り、地域の活性化につながる絶好の機会であり、夢と感動を与える大会が実現できよう頑張りたい。

香月チエミ 議員



もつと議論を学校給食

問

学校教育施設整備検討委員会で学校給食については、自校方式が一番良いと認めながらも、現実的にはコスト

答 （江里口市長）

①小城給食センターを含めて当面二カ所での運営が前提となる。②牛津中改築工事の完成時期を視野に入れている。③大変厳しい手狭な

面が最重要視された結果、センター方式が最善であるとの結論に達している。①センター方式の考え方は②牛津中改築との関連③三日月施設との関連④遊休地の活用は。

状況は認識している。当施設などの改修で対応する。④市有地を含め選定する。



▲楽しいバイキング給食

男女共同参画の推進は

問

十八年十二月に答申をされた小城市総合計画の基本理念である参画と協働の中にも盛り込まれているように、大変重要である。①基本計画策定のスケジュール②女性委員の参画促進は③市役所内の推進体制は④市の業者入札要件に「仕事と家庭の両立支援」を加えてはどうか。

答 （江里口市長）

①十八年度中に基本計画を完成したい。②十八年度で二十四％、二十年度三十％達成したい。③推進本部、幹事会を設置した。各課挙げて事務事業の選定と計画案の策定を行う。④県が十九年度から総合評価方式を採用するので、同様の取り扱いをしていきたい。⑤県の助成が倍増す

⑤不妊治療の助成を。

るので、まず広報に努める。など、男女共同参画の推進は行政と市民がともに理解を深め、協力と連携が必要である。まず市役所から変わって市民や事業所のモデルとなるよう努める。

その他、個人情報保護条例に関連して、問題事例の把握、職員の過剰反応などについて質問しました。

樋渡 邦美 議員



十九年度予算編成の基本姿勢は

問

十月下旬から各地区で市長と語る会を開催されたが、その中で来年度は、市長三年目

松尾 義幸 議員



アイル足湯に屋根をつけよ

問

津の里温泉アイルが平成十五年四月にオープンして三年半が経過した。

に入り具体的な効果を出す」と力説されたが、市税はもちろん、地方交付税にも大きな期待がかけられない財政状況下のもと、どのような効果を出していくつもりなのか。

十九年度予算編成に当たり、以下の四点について尋ねる。

- ① 具体的な効果とは
- ② 市民の関心が高い庁舎問題について来年度予算にどう示されるのか。
- ③ 学校建設、下水道、南

- ① 日本温泉協会の評価制度の審査結果の見通しは。
- ② 雨の日でも利用できるよう足湯の屋根設置。
- ③ 露天風呂の屋根設置。男性用サウナに背もたれ付きのイス設置を求める。

答 (江里口市長)

① 最終的な評価結果は、二月頃になる見込み。

② 足湯に強固な屋根を建設する必要があり、高額の建設費がかかるため、

部開発などの大型事業については、どのような方針で取り組まれるか。

④ 市民生活に必要なかつ大事な思いやり予算については、特段の配慮を講ずるべきだ。

答 (江里口市長)

① まず歳入として合併から三年間に限り特別交付税、五年間普通交付税に毎年九千八百万円の上乗がある。また合併特例債などもある。

しばらく現状で行きたい。



▲足湯で国際交流

③ 露店風呂については、利用者のみなさんの意見を十分伺いながら現状か、屋根やすだれが必要か検討する。サウナ室は、

歳出については、合併効果となる人件費の削減、一般職員十九名分の削減効果などがある。

② 有識者九名で構成する本庁方式移行検討懇話会が、来年一月に提言書を提出、十八年度中に、方針を決定させる。

- ③ 多額の経費を要する事業のため、市民の意見はもとより、担当部署、専門家の意見を考慮しながら適切な判断をしていく。
- ④ 市民生活に直接かかわ

現在の長イスを利用し、二段式で利用できるよう改善の計画をしている。

長年懸案の牛津町柿樋瀬の土地問題

問

吉原さん夫妻は、昭和四十七年六月柿樋瀬一〇二九の三に土地を求められました。しかし、その土地が圃場整備の区域に組み込まれていたことから、分筆や交換など問題が次々と起

る予算については、市民からの意見や要望を伺っており、しっかりと検証し、めりはりをつけていく。

問

財政が厳しいなか、それにかわって、行政運営の効率化、市民サービスに行政が今以上の力を発揮すべきだ。時代に応じた体制づくりを模索しては。

- ① 児童福祉課と学校教育課の幼児教育に対応した子供課の設置、他に組織

こった。この過程で、奥さんの印鑑証明が、本人の知らないところで作られ、使われていたことなど、三十四年が経過しても解決していない。住民の生活と権利を守る立場からこの問題に本腰を入

れて解決に当たるべきではないか。

答 (江里口市長)

平成十七年二月原告の夫妻から牛津町に対して不法行為による損害

の再編成などはないか。

② 市内百八十一地区に専任の市職員を配置することだが、区長との役割分担は。

答 (江里口市長)

① 子供課の設置は来年四月一日からの設置をめざしている。

② 合併後は、区と非常に希薄になっており、各行政区との連絡調整をさせる。

賠償請求事件が提訴され、七月原告の請求を却下する判決が出ている。本件の事業主体は、牛津東部土地改良区であり、今後この問題に市としては対応できません。

その他に指定文化財のあり方や修理・補修・保存に当たって質問しました。

合瀬 健一 議員



三日月小、中学校の施設を問う

問 三日月中学校は、平成二十年度より五クラスとなる予定である。その対応として、特

別クラスを普通教室に改装、特別クラスをプレハブにするとの事であるが、プレハブ教室はどこに設置されるのか。

答 (今村教育長)

校舎の南の方、グラウンドにできるだけ少なくかつて、サッカールの試合などに迷惑をかけないという方向性を持って考えている。



▲学校施設は生徒増に対応できるのか

問 中学校は敷地が狭く、プレハブ教室が長く続くと生徒達にとつて大変なマイナスになると思う。校舎改築、又敷地を広げるということを市は検討しているのか。

答 (今村教育長)

小学校があれだけの肥大化の中で中学校の施設整備については広げるという視点で対応していく。全市的なことと連動して対応していく。

問 三日月小学校、中学校の給食はおかずだけであり、父母は他の小、中学校と同じように完全給食を望んでいる。市は将来すべての小、中学校でセンター方式をやると思われるがいつ頃から正式に発足するのか。また、それまでの対応は。

答 (今村教育長)

完全給食を目指すべきだ。牛津中学校の建設と連動して早急に対応

答 (江里口市長)

できればと思っている。それまでは弁当、給食、中学校だけ牛津方式の業者委託でやっていくのか、考えながら対応していく。

牛津中の校舎改築の完成に合わせたような形でセンター方式に移行できればというふうに思っている。

今村 昌幸 議員



八丁ダム周辺の整備振興を

問 八丁ダム周辺は秀峰天山を背景に四季折々の原風景、季節が楽しめるすばらしい本市

ならではの特色ある観光と交流資源である。ダム周辺は、松が枯れ、展望台、遊歩道は雑木雑草が茂って環境は今一つ手入れがゆき届かず、財産、宝が十分生かされてない。観光都市小川の形成を進めるには、カエデの植樹などすべきと思う。財政的にも小城市の祭りを自然環境豊かなこの地で一遍に開催したらどうか。

答 (江里口市長)

自然環境豊かな八丁ダム周辺であり、まだまだ整備をし直すところがある。現状では非常にもったいない。小城市版として定着できるように十九年度より取り組みをしたい。

森林の適正な整備を

問 経済性から公益性として、空気の浄

化など多面的機能を高度

に発揮する大切な資源、その森林が過疎化、後継者不足などから荒廃をしている。今整備をしないと機能が発揮できなくなる。特に市有林は大切な財産であり、職員の配置を含め専門的な後継者の育成による継続的、適正な整備をすべきである。今後の植林は、自然の力、先人の知恵を尊敬するなど、いま一度考え環境に合った取組みを。その他、分収林の権利譲渡

答 (江里口市長)

小城市森林整備計画に基づいた整備をする。又漁業者の理解を得ながら市民一体となって森林の育成を図って行きたい。分収林については、調査をする。



▲景観素晴らしい八丁ダム周辺

下村 仁司 議員



長崎の未来のための新幹線か

問

新幹線長崎ルートが開通しても牛津にはたいして迷惑はかからないと県や古川知事は

言っているが、長崎のために協力してくれと言うべきではないのか。佐賀県は「明日の佐賀県のため、こどもたちのためのチャンス」。長崎県は

「長崎の未来のために新幹線」。どちらが本旨なのか疑問。高速道路も新幹線も武雄・嬉野では鹿島市に同情する。武雄・長崎間を新幹線規格で建設するなら将来武雄・新鳥栖間も新幹線規格でつくるのではないのか。牛

答

（江里口市長）
武雄から諫早まで二千七百億円かけるのではなく、鳥栖から諫早まで沿線の視点も考慮して合わせた事業費を要望したい。

津駅の将来が鹿島駅のようにならないか心配である。賛成する前に条件闘争すべきではないのか。

佐賀県知事は知事になる前、長崎県



▲長崎県の新幹線説明資料

台風被害支援を

問

潮風害・電被害について今議会に提案されたことはありがたいが、県の災害支援の分であり、災害調査漏れが多く見受けられる。小城市独自のものは何もないがどうするのか。

答

（江里口市長）
まだまだ被害情報を把握していない部分もあるようなので、今後の



▲見るも無残に被害を受けたハウス

推移、担当課の報告などを見守りたい。

深川 高志 議員



学校教育の現状は

問

小城市内小中学校における学校内の現状と教育について伺います。

答

（今村教育長）
①教育相談、生徒指導担当職員を中心に、

いじめ防止のための学校全体での指導、不登校児童、生徒に対する家庭訪問、相談室登校への対応

と対策について
②スクールカウンセラーの活用状況について
③学力向上研究事業の成果について
④学期二学期制実施の成果は発揮されているか

など、児童、生徒のことを第一に考え適切に対応している。
②現在、小城市に三名のカウンセラーと一名のアドバイザーが、一人年間二百八十時間の計画で配置され、これからも児童、生徒だけでなく、保護者の心のケアにも尽力してゆく。
③平成十七年度当初の学力調査と比較して、十二月あった県の学習状況調査は、大半の教科によっ

て県内の通過率を平均以上上げることができ、そういう意味では、学力向上に寄与したと思っている。
④定期試験や始業式、終業式の回数が減ったため年間二十から三十時間の授業時数が確保され、児童生徒と教職員が向き合う時間がふえ、学力向上につながっていると考えている。

問

平成十七年六月議会頃より、総合的な事業の推進に向け、今後早急に取り組まなければならない課題と位置づけ、協議会で取り組んでゆくと言われていたが、現在どのような状況で今後の計画はどうなっているのか。

天山、多久地区共同清掃センター建設計画はすすんでいるか

答

（江里口市長）
建設候補地としての地域を抽出し、建設候補地選定委員会での選定作業を進めている。今後は、平成十九年度に一カ所に絞って調査し、平成二十年度は、地区説明会にて承諾がとれてから、

国、県との協議、申請を行う。その後交付金事業を活用した場合、事業開始から完了までおおむね五年間から最大七年間まで事業期間と認められる。

明石 壽彦 議員



にどのような考えを持って臨んでおられるか。

課題となっている。

答 (江里口市長)

在来線についての安心安全という観点から首長として要望することであるということをご理解いただければと思っています。

答 (江里口市長)

現時点での論点としては在来線活用によるものということで、その中で在来線に沿線地元の課題、問題解決を考えていく必要があると思っています。新鳥栖駅から長崎までのルートでフル規格の話は現在していない。

答 (江里口市長)

高架の問題については小城市の地元の要望として県の方に話をしたいと思っています。

この他に企業誘致について質問しました。

西九州新幹線長崎ルートを問う

問

九州新幹線西九州ルート地域連絡協議会が沿線首長で設立された。市長はその協議会

答 (江里口市長)

地域連絡協議会に参加している中では、総論的には西九州ルートというのはある程度理解を示している。この長崎までの新幹線は将来の人のためにもなるんじゃないかと思っている。参加するに当たっては各論的な問題をいかに解決してもらえるか、それが大きな

九月十二日の佐賀新聞世論調査で新幹線不要五十五・二%、必要二十九%を大きく上回っている。建設推進を図る県と県民の間に大きな隔たりがある。安全対策、交通渋滞、騒音振動など住民に直接関係のある議論がなされていない。市長の解決策は。

問

新鳥栖駅から長崎まで新路線でのフル規格の新幹線も視野に入れて検討すべきでないか。

大平 竜弘 議員



ある。早期発見、早期治療のため、三十歳以上の誰でもが気軽に参加できる検診、人間ドック体制が必要と思う。市長の考えは。

努めます。

市内で年間十件の住宅火災

平成十七年度は小城市内で十件発生し五戸が全焼です。財産

答 (永渕総務部長)

離合場所の確保は土地の所有者などの問題があり難しい。開発などの場合は指導しています。地上式消化栓は、適宜場所にに応じて対応していきます。



▲火急な時に役立つ消火栓

答 (江里口市長)

町づくりシンポジウムでも述べたが、自然豊かな小城市に合う企業誘致を、またよその人があこがれる住宅地にしたいと思います。企業誘致三社以上、雇用千人以上を目指し努力いたします。

問

今、仕事探しの若者が多いが就職口がない状況だ。小城市の誘致条例の優遇措置は古く改正をすべき。市内の企業が他市に進出された

企業誘致で若い人の働く場を

がその対応は。また近隣の市町と共同開発し、小城市を百坪以上敷地の理想的な住宅団地作りをするなどの広域的企業誘致の模索を。

人間ドックで健康な市民づくりを

問

保険料が高いという前に、健康な市民づくりをし、医療費の軽減も図る政策が必要で

答 (江里口市長)

国民健康保険の運営は危機的状況と認識しております。小城市市民病院と地域病院との病診連携を検討しています。体制づくりをし、予防事業の拡大、医療費の軽減に

諸泉 定次 議員



地域の拠点を守れ

問 小城公民館のもとに四つの支館があり、三里、晴田、岩松の支館に配置されている管理人さんが、今年度をもっ

て廃止となる。

十一月に岩松校区の区長会で課長から、管理人の廃止と警備会社との契約説明があった。その際、不満が相次いだ。支館長も「管理人制度を存続させないと支館長の業務は今の半分もできなくなる。」と言っている。

支館長は昼間も出て行くことが多く、夜間誰もいないのでは使いづらくなる。地域のコミュニティが崩れる。



▲岩松支館で青少健による餅つき大会

答 (江里口市長) 合併時において、

対応と整備と考え方は、どうなのか。

問 住み込みの管理人さんは、月額六万円で三人分で年間二百十六万円。これを半額の百八万円以内で警備会社に

嘱託職員について、五年を経過する場合は新たに雇用しない方針で、管理人さんには本年四月に来年度の契約はしないと教育委員会より連絡をしている。支館については住み込みを廃止して機械警備の結論。私も決裁した。

委託。わずかの節約のために地域住民を困らせておいて、何が経費節減ですか。だれが市長の決断を評価しますか。支館の使用は、各種団体と多岐にわたっている。まさに地域のつながりとまちづくりの拠点。計画の撤回を。

答 (江里口市長) 機械警備をお願いしたいが、地域で委託をしてもらう形もある。嘱託職員の定年制はないが、大体六十五歳ぐらいまでを一つのめどとして配慮をしている。

その他に、松本山採石場の安全対策、国民健康保険の安定的運営について質問しました。

中島 正樹 議員



下水道事業について

問 下水道事業は、既に供用開始している処理区からいまだ未着手の処理区まである。

①旧町別に計画された事業で、合併により随時検討されコンサルタントに見直し業務を委託した。それを受けての更なる検討と協議を行ったと思うが、その内容はどのようなのか。

答 (江里口市長) ①見直しについては、主として整備区域の中で未整備区域の整備手法の検討を行い、下水道での整備が合併処理浄化槽での整備より経済的に有利な区域と判断した。旧三日月町で二十三ha、旧小城町で七十八ha、合計百一haが新に下水道の区域となり、その結果、

区域外が千百八十戸から四百二十八戸になる。②財政的な考え方では、小城、堀江の浄化センター用地問題を始めていて多くの問題を抱えている。現在では下水道を軌道に乗せるために計画の見直しに伴う法的な手続き、浄化センター用地の問題などに重点をおきながら、一方では普及率の向上のため事業を進めている。

受益者負担金、使用料については、現時点では改定の予定はないが、使用料については、使用料を充当する維持管理費や起債償還額が今後ますます増加することとなり、その結果、一般会計からの繰出金の増加する事になる。さらに、国からは使用料の適正化に関する指導もあっている。

答 (江里口市長) 市町村設置型の移行などもふまえて下水道整備の中で十分検討していく。

問 処理区外に対しての具体的な整備計画はどうするのか。

③処理区外については、合併浄化槽での整備を予定している。

岸川 弘文 議員



商店街活性化のため
牛津駅南開発が必要

問 佐賀市近郊に大和
ジャスコ、モラー
ジュ、ゆめタウンなどの

大型ショッピングセンターの進出により、急速に牛津商店街の商業的機能が低下している。市民の行政への需要と併せ商店街の活力を生む施策として①昭和三十一年以来計画的に実施した都市計画の未整備の駅南、街路事業を継続すべき。②年間六十万人を超えるJR乗降客のほとんどが五丁分踏切を横断している。更に新幹線が三十本通過すると約三時間十分が遮断され、商業機能が分断され、人、物の流れが更に停滞する。乗降客の利便性を考えるとき、駅南にも乗り入れ口を創設すべき。③市営住宅の老朽化に伴い建てかえの時期にきている。既存の団地は、買い物、公共公益施設と便利な場所にある。等々を考えると駅南地域の開発が必要ではないのか。



▲牛津駅南地域の開発を

答 (江里口市長)
策定中の総合計画を具現化するため、都市計画の見直しを予定して

いて持続可能な都市構造を再築していく。都市計画道路の整備は、都市内部の交通処理の向上や鉄道、公共交通との結節点を強め、総合計画との整合性を図りながら進める。市営住宅の場所については、交通便利性、中心市街地に近いこと、都市基盤が整備されていること、住環境が確保できる場所等、旧牛津町のマスタープランを参考にしたい。空洞化対策についてどのよう

堤 謙太 議員



原点である財源の確保は

問 国が掲げる三位一体の改革、地方交付金及び補助金の削減、自主財源が乏しい中、

年々増え続けている市税、国保税の滞納者、額の徴収及び収納管理体制はいかに。

答 (江里口市長)
市税、国保税の滞納額は十一月現在四億六千二百万円程で未納額の徴収により、一層の強化を図り、高額、悪質な滞納者には厳しく差し押えを実施し徴収に取り組む。

答 (梅崎市民部長)
職員の研修(県税事務所への派遣研修)管理職を筆頭に全庁あげての徴収、収納嘱託員の強化をはかっていく。

給食費、保育料の未収納管理体制は

問 (松本教育次長)
給食費の滞納額は一千万円程度である。徴収には夜間徴収などおこなってきたが、九月から

答 (古川福祉部長)
保育料の徴収には九月から二名体制で十班、園長を始め二十名で徴収に回っている。児童手当の支給月に窓口に来てもらい現年度分を納めてもらっている。

問 毎年おこなっている不納欠損処分は

答 (江里口市長)
税収がなければ市の運営ができない。住民サービスの低下、まちの空洞化がないようにし、また落ち込まないように市の運営をしていかなければならない。簡単に不納欠損処分をするのではなく、収納率の向上、税の不公平感がないように一層の努力をしていく。

答 (江里口市長)
策定中の総合計画を具現化するため、都市計画の見直しを予定して

問 毎年おこなっている不納欠損処分は

答 (江里口市長)
策定中の総合計画を具現化するため、都市計画の見直しを予定して

問 毎年おこなっている不納欠損処分は



▲楽しい給食の時間

高木 一敏 議員



の支出はないか。

答 (江里口市長)

行政改革大綱に基づき、数値目標を入れた百項目のプランを進めている。来年度の予算編成で試行的に開始する。また、職員互助会への支出は一切行っていない。

問 合併して一年十ヵ月になる。行財政改革はどこまで進んだか。また、職員互助会へ

答 (江里口市長)

農村集落の環境を守る事を目的に、品目横断的経営安定対策と同時に打ち出され、農村と農業を守る事業であるが、各集落への説明不足と思われる。また、条件や規制が多く取り組みにくいと言われている。特区の申請は考えていないか。

答 (江里口市長)

この事業は十九年度からスタートする事になっている。現在は、百

岸川 英樹 議員



答 (江里口市長)

水稲、大豆被害対策は、共同乾燥調整施設対策事業、被災農家の種子確保のための対策、園芸の施設被害対策そして果樹等の樹勢の回復、改植対策、野菜等の種苗確保対策、畜産関係は畜舎の被害に対する助成を提案している。ほかにも農業災害の対策特別資金の利子補給事業に取り組む。

問 事業の負担割合を県の半分しかないのはなぜか。

答 (江里口市長)

農協関係等の要望事項の中でそれが行政として対応できるのか、生産意欲を増すために、効率があるものなのかを判断した。全体的な被害状況がこれから上ってくるので、推移を見てまた対策をたてたい。



▲台風13号で倒壊したハウス

牛津中アンケート いじめ五十一%

問 いじめ、自殺問題が社会問題となっ

て新聞、テレビで報道されている。牛津中学校の

答 (今村教育長)

市内では、十一月現在、いじめの報告は小学校二件、中学校三件。そのうち小学二件、中学二件は解決済み、中学一件は、事後の取り組み中。いじめの解消につな

地域公共ネットワークの整備は

問 四町を統一したネットワークは。

ケーブルテレビの今後の活用は。情報無線の効果を上げるための対策は。

答 (江里口市長)

それぞれの町で情報化計画を立ち上げて、災害等に対応するウェブカメラを設置したり、整備の拡大を推進。小城市

がる事業を推進し、学校、家庭、地域の連携を取って行きたい。

他に、土地借上げ問題を質問、昭和四十二年からの借上げで、十分利用者は、恩恵を受けられている。特に、牛津町の市営住宅、保育園、駐車場が大半で、用途別で八件、契約者十一人、面積約二万㎡、借地料年間約一千四百万円支払い。

は二つのケーブルテレビがあるが、デジタル対応とインターネットの普及で統一された方が良い。防災行政無線は旧町のものに急急に統合し、運用している機器の故障や機械の性能の低下が著しいので、整備方法やシステムを検討している現況です。

江島佐知子 議員



保健福祉センターのサービスは向上したか

問

今年四月より桜菜館、ひまわりなどで指定管理者制度が導入

答

(江里口市長)

今年度は二施設で百四十五万七千円のコスト削減が見込まれる。四保健福祉センター間のバス運行を新しく実施。社会福祉協議会と協議しながらサービスの向上に努める。今後アイル、ゆめりあでの導入を検討。

された。コスト削減とサービスの向上が目的だが効果はどうか。今後の制度導入についての考えは。

問

障害者自立支援法施行後、負担増の中で関係者は懸命に努力されている。①市内の障害者の雇用状況はどうか。②相談窓口の設置で見えてきた課題とその対応は。

答

(江里口市長)

①市は市長部局六名、教育委員会四名で法定雇用者数をクリアして

いる。②小城市多久市共同で桜菜館に相談支援センターを設置。二十四時間三百六十五日の体制。相談件数は十月二十五件、十一月二十九件、今後増えると考えている。現場の話聞きながら市の独自策を考えていく。

答

(古川福祉部長)

①市内対象企業は十六、達成事業七、雇用率は一・三六％(十七年六月一日現在)

問

③作業所やグループホームの充実に市の遊休地の活用は考えられないか。④関係機関との連携や市報を活用しての就労支援などすべきでは。⑤地域での共生のための長期取り組みは。

答

(江里口市長)

③障害者の受け皿づくりということを含めて担当課で対応する。④小城市・多久障害者自立支援協議会など関係機関と



▲みょうが塾のべったんこ冬まつり(三日月町)

平野 泰造 議員



農業振興の再挑戦を

問

三年連続の台風被害でほとんどの農家は打ちのめされた。落ち込んでいる農家の気を喚起させるための施策は

答

(江里口市長)

被害に対し早急の復旧と支援という意味で今定例会に提案している。農地・水・環境保全向上対策事業は駆け足で進められているが、農政の立場から見必要がある。

問

農地水環境事業は、品目横断的経営安定対策事業と車の両輪。一階の部分の共同活動への支援をクリアしなくては二階部分の営農支

答

(北島産業建設部長) 再度説明会を行う。

答

(江里口市長)

変わる農政だから自治体の役割が重要だ。

食育の取り組みは

問

平成十七年七月、食育を生きる上での基本とし食育基本法が施行され県も食育を県民運動とし、今年四月「食育ネットワークさが」が設立された。食育の取組みはどうされているか。

答

(今村教育長)

生活環境の変化の中、将来を担う子どもたちの食生活の乱れに歯ど

問

食の大事さを答弁されているが、子どもたちの給食は平等ではない。食育の平等はどうされるか。

答

(今村教育長)

不平等はいけない。給食検討委員会で対応を図りたい。

答

(江里口市長)

牛津中改築をめどに統一的な給食体制になるよう努力する。

活動これあれ議員議



11月 海苔養殖場視察



11月 松本山採石場視察



11月 小城給食センター視察・試食
(12月：牛津中給食を議会棟にて試食)



12月 三日月小改築完成を視察

中島 正之 議員



関連した企業誘置を。

答 (江里口市長)

問 芦刈町まちづくり交付金事業と道路について

事業の今後の計画と町内にできるインター付近に農水産業に

来年度は戸崎川遊歩道整備や交流センター基本計画と定住促進計画の策定と実験物産所の開設。二十年度は三王崎農林公園整備を、二十一年度から交流センター整備と市民体験農場整備を予定。企業誘致の候補地として良い場所である。地権者の理解も必要であり問題解決の作業もやる。

問 社擲く東道免く小路に至る道路を円心寺南より町分の江口

答 (江里口市長)

必要性は感じ道路計画の中に入れており年次計画の中に、どのような

に入れていくのかが我々の作業である。

小城市内に菜種畑と廃食用油活用で街中に油田を

問 地球温暖化防止のCO₂削減を考える時、

市有地、遊休地、休耕田、荒廃田を活用し菜種を植え、菜種からバイオ燃料あるいは食用油を作り家庭で、学校給食で使い、それをまた回収して廃食

答 (江里口市長)

廃食用油のリサイクルというこの運動は、やはり地域を挙げて、我々も率先してやっていく。菜種栽培の菜の花プロジェクトには、私も非常に興味を持ち研究しながら

用油をバイオディーゼルの循環し子ども達の資源循環を学ぶ勉強にもなる。先ずは多くの公用車をバイオディーゼル燃料で、温暖化防止のためにも

問 塵介処理場改築について一点だけ、

平成三十一年に集約体とする県のごみ処理広域化計画とのかねあいは？

答 (江里口市長)

広域化計画と今回の清掃センター建設の整合性を含めて県と十分協議をしていきたい。